

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 日本退公連・鈴木共同ビル5F
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ totaikou.jp/

○禍を転じて福と為す

昨年12月、突然、新型コロナウイルス感染症のニュースが飛び込んだ。新型と聞いた瞬間、「感染者5億人、内5千万人、1億人が死亡。爆発的流行で第一次世界大戦の終結が早まった」との中学時代の「スペインかぜ」の教えが頭を過った。発祥地の中国湖北省が街全体を封鎖して数ヶ月。ひよっとして大変なことになるとの思いから、2月14日付で役員・支部長に業



今、我々の本気度が問われる時
——結束して会員減少に歯止めを——
東京都退職校長会会長 多田 丈夫

務自粛の緊急連絡を出した。未だ、感染経路や原因が不明で集団感染が危惧され世界的流行は止まず、国は感染の拡大防止に懸命である。世界の感染地域198ヶ国、感染者37万人、日本の感染者も千八百九十人を超えた。(02・3・30読売)この先、不透

明だが早期の終息を願い、禍転じて穏やかな日々の到来を待ち望みたい。

○「サクラサク」の季節

一昔前に遡るが地方の学生が

東京の大学を受験して、〈桜咲く〉の合格電報を待ったものだ。他に「お茶香る」とか「富士山頂征服す」等と大学により合格電報の文句が違っていった。合格と桜がどのような関係かは定かでないが受験生であれば誰もがつかみたい「合格」の二文字。インターネット時代の入試結果はWEBで発表する大学が主流なのか。さて、お孫さんの受験を気にされている会員も多いと聞く。大学入試の風景は悲喜こ

もごもだが、人生の転機を彩る「サクラサク」の電報が懐かしい。今、不忍の池の桜が満開である。

○一人3役にエールを

「私は再任用校長の身で区の校長会長です。この度、いち早く皆様の仲間入りをしました。一人3役です」。昨年のS支部総会に来賓で出席された校長先生の挨拶だ。見事な英断にエールを送り固い握手を交わした。改めて、エネルギーを

現職校長の期待に応える組織でありたいとの思いを新たにしたい。さて、会則改正からまもなく2年。我々の本気度が問われる時、必死で会員減少に歯止めをかけねばならない。超高齢化・少子化時代は続く。加えて、本会の台所も火の車、思い切った身を切る改革を断行せねばとの決意だ。風向きはアゲインストだが、年を重ねても我々の心に皺はない。英知を結集し会員増強に向け、さらなる会員の結束を誓いたい。

主な記事

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| P1 巻頭言 会長挨拶 | P10 新入会員の声 |
| P2 第67回定期総会の延期について | P11 地方会員の声 |
| 新型コロナウイルス感染症の流行拡大に関わる緊急連絡 | ホームページの更新 |
| P3 東京都教育庁幹部との懇談会 | P12 支部だより |
| P4 会員増強の動き | P13 応募コーナー① |
| P5 入会のお誘い | P14 クラブ紹介 |
| P6 第2回「外部人材活用連絡会」報告 | P15 高齢者叙勲受章会員、湯島の動静 |
| P7～9 各部だより | P16 物故者応募コーナー②
編集後記 |

令和2年度 第67回定期総会の延期について（通知）

来る、5月12日（火）PM12時30分より東京ガーデンパレスで開催が予定されていた「第67回定期総会・会員研修会・懇親会」は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が続いている状況に鑑み、正副会長会で検討し、10月28日（水）に延期することとしました。尚、予定している議案の扱いは、後日、本部より支部長宛にご連絡いたします。

（令和2年3月24日 東京都退職校長会 会長 多田丈夫）

関係者各位

令和2年3月24日

「第三次緊急連絡」

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う業務自粛の延長及び中止について

東京都退職校長会会長 多田丈夫

昨年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス感染症の流行は、拡大の一途にあります。3月24日現在、世界の感染者は169ヶ国35万人、国内の感染者も1,100人を超え、多くの死亡者も出ています。未だ感染経路や原因が不明でパンデミック（世界的な大流行）の様相を呈してきています。また、国は専門家会議を通じて「爆発的患者急増」の可能性ありとの認識で集団感染の拡大防止に懸命です。さらに、感染リスクを考え、各種イベントの延期または中止等の慎重な対応を要請しています。特に、高齢者ほど外出を控え、手洗いやマスクをするなど自己防衛の徹底と励行を強く求めています。

東京都退職校長会としては、会員の命と健康を守ることを最優先に、引き続き、本会のすべての会議等を自粛延長すると共に、以下に第三次の緊急連絡をいたします。

関係各位におかれましては、十分理解の上、下記の8項目をすべての会員並びに部員にメール等で遺漏のないよう周知願います。

記

1. 事務所で予定しているすべての会議等は、3月24日より引き続き、自粛延長する。
2. 5月12日（火）に予定していた定期総会は、10月28日（水）に延期する。
3. 本年度の「教育フォーラム東京・2020」は、現下の社会情勢に鑑み、中止する。
4. 自粛延長で4月20日（月）に予定していた〈評議員・支部長合同会議〉は中止する。
尚、今後の会議開催の日程及び方法については、別途、通知する。
5. この間の必要な業務及び会議は、各部の間でメールによる連絡を密に〈在宅業務〉をお願いし、必要に応じて〈書面会議〉で対応する。
6. 今後の業務遂行の検討は、三役会（会長、総務担当副会長、事務局長）に一任する。
7. 諸行事等の延期または中止等に関しては、三役会の議を経て、関係各位に周知する。
8. 緊急やむを得ない問い合わせは、会長または事務局長の携帯を活用されたい。

●会長 090-1705-2519

●事務局長 090-4622-7837

「東京都教育庁幹部との懇談会」

―未来の創り手の育成に向けて―

開催日 令和二年二月五日（水）
会場 都庁第二本庁舎教育委員会室

東京都教育委員会と東京都退職校長会との懇談会が去る二月五日（水）午前十時より都庁第二本庁舎教育委員会室で開催された。

はじめに東京都教育委員会幹部、続いて東京都退職校長会より自己紹介を行った。

次に、事前に提出していた八項目からなる要請書の趣旨の具体的な補足説明を多田丈夫会長より行った。また、東京都の叙勲受章者の増員について本会としての要望も申し上げた。

要請書の項目ごとに総務部・指導部・人事部より担当課長・主任指導主事ほかから具体的な施策や成果・課題等の説明と回答をいただいた。

一、東京オリンピック・パラリンピックに向けた教育施策について

指導部指導企画課

主任指導主事 守屋 光輝 氏

都教育委員会は、東京2020大会を、子どもたちの人生に

とって重要な機会と捉え、「東京都オリンピック・パラリンピック教育」を都内の全ての公立学校で展開している。基本的な視点として、「全ての子供が大会に関わる」「体験や活動を通じて学ぶことを重視する」「計画的・継続的に教育を展開する」を掲げ、東京大会と、更にその先を見据えながら、「ボランティアアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の育成に努めている。

二、小学校の英語教科化のその後
の取組について

指導部義務教育指導課

課長 中嶋 富美代 氏

四月から小学校英語の教科化が全面实施となる。現在、七十校に英語専科指導教員が配置されているが、さらに以下のような取り組みを進める。

○令和二年度から、二十二学級以上の小学校に英語専科指導教員を配置していく。

○英語専科指導教員に対して指導の内容や方法に関する研修や情報の提供を行う。

○教員向けの指導用資料（冊子DVD等）の配布を行う。

英語教育の充実には、小学校と中学校との連携が大切であり、小学校教員の中学校での指導についての理解、中学校教員の小学校での指導についての理解が大切である。

三、東京都が進めるプログラミング教育の取組について

指導部指導企画課

主任指導主事 田中 康雄 氏

プログラミング教育は令和二年度から小学校で全面实施される。都教育委員会は、平成三十三年度から二年間、プログラミング教育推進事業を七十五校で実施し、周知・啓発を図った。

【具体的な準備状況】

○区市町村毎に推進校事業の成果報告。○教材・事例等の普及広報活動終了。○小学校プログラミング教育フォーラム開催。○指導資料の作成・配布。

【実施上の課題】

○小学校の実情、要望に応じた学校支援の施策を実施。
○中学校及び高校の指導事例の

開発を行う。

四、主権者教育等の現状と今後の高校教育の課題について

【主権者教育について】

指導部高校教育改革担当

課長 小林 正人 氏

主権者教育は重要であるとの認識で、高等学校教育において強力に取り組んでいる。

新入生全員に二つのリーフレット「民主主義の大切さ」「有権者としての在り方」を配布して授業等の中で指導を行っている。

さらに、選挙に向けて「模擬投票体験」等を実施して選挙への関心を高めている。

また、都立高校全校に都内で発行されている新聞（六紙）を購入し、社会情勢などに関心を持つように指導している。

【消費者教育について】

指導部高等学校教育指導課

主任指導主事 井上 隆 氏

都立高校三校を研究推進校に指定し、各校で二回程度研究発表会を行うなど、消費者教育の更なる充実に努めている。

高校生が消費者トラブルに巻き込まれないように令和二年度の授業等でリーフレット「社会への扉」を活用し指導していく。

五、「学校における働き方改革」に係る東京都の施策について
総務部企画担当課

課長 光永 功嗣 氏

文部科学省は、働き方改革の方策の一環として「公立の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を示した。東京都はこの告示を受けて取り組んでいる。

昨年度と比較して、過労死ライン相当の教員の割合が減少するなど、一定の改善が見られたが、国の上限時間（四十五時間）を超える教員も存在している事実もある。更に改善を図る。

小学校及び中学校に対してはスクール・サポート・スタッフ配置支援事業などを拡充している。

六、いじめ問題の解決に向けた
教育施策について

指導部指導企画課

主任指導主事 渡辺 浩一 氏

平成二十九年度の都内公立学校におけるいじめの認知件数はおよそ三万件である。一方で、いじめの解消の割合は八割〜九割である。対応としては、「ふれあい月間」における調査を通じて、各学校が自校の課題を把握し改善を図る仕組みを構築し

た。また、全ての教員にいじめの認知や、組織的な対応等について、具体的な取り組みを示した冊子等を配布するなどし、指導の徹底を図っている。

七、学校の管理職並びに教員の
人材確保と今後の取組につい
て

人事部選考課

課長 荒木 進太郎 氏

人事部勤労課

課長 前田 泰伯 氏

人事部教職員任用担当課

課長 吉田 直子 氏

教員採用候補者選考における小学校の倍率が低くなっている事実がある。働き方改革についてのPRも含め、教職の良さを伝えていく。有能な管理職確保のため、都・区市町村の人材情報の一元化などにより、計画的に管理職候補者の育成を進める。

都教育委員会はこれまで、女性管理職の登用を進めるため、教育管理職選考を主任教諭から受験可能とするなど、昇任選考

制度の改善を図ってきたところである。多様な受験機会を設定することを通じて、様々な状況にある受験者を取り込んでいく

よう、今後も努めていく。

会員増強の動き―常に工夫と改善を―

副会長（業務推進本部長） 桐谷 澄男

全員の入会を目標としてスタートしたプロジェクト・チームの活動もほぼ一年になる。今は、四回目の勧誘活動に入った。

一 入会者数九十四名（令和元年度）

支部長さん方を中心にワン・チームになって勧誘した結果、本年度の入会者は計九十四名（三月三十一日現在）になった。

まず、二〇一九年度に退職された方は二五六名。そのうち、入会者は四十三名（一六・八％）。

（ちなみに二〇一八年度退職された方の入会は二十六名であった。）

次に、それ以前に退職された方の中からの入会者が五十一名おられて、それで計九十四名。

昨年度よりは計十七名増であるが、まだまだ右肩上がりには遠い。今後、さらに伸びた数字にしたいし、さらに一歩一歩粘り強く進むことにしたい。

二 各年度の入会者

さて、特徴的なのは、平成八年度退職の入会者一名が最古参で大感激、九年度、十年度と昨年度までの間に毎年のように一〜三名ずつ入会されているという事実がある。入会者の多い年度は、平成二十九年度の六名、平成三十年度の五名であった。あと四名が平成二十八年度、平成二十七年であった。支部長さん方の掘り起こしがワサビのように利いているといえよう。

涙の出ている話だ。

もう一つの重点勧誘年度「五年前退職者で未加入者」への入会結果を見ると、それは七名であった。「十年前退職者で未加入者」への入会結果を見ると、それは二名であった。反省点ではある。でも、それはそれで掛け替えのない有り難いことではないか。努力は報われるものだという信念で取り組んでいることを考えればこそである。

また、加入支部は、居住地入部三十四名、勤務地四十名、居勤同一の方は二十名となっている。心配したほどの偏りはなかったといえよう。

三 隣接県支部の状況

隣接県支部の入会状況については、千葉中部一名、千葉西部一名、千葉北部三名、埼玉県支部四名、神奈川県支部三名であった。計十二名で例年と遜色のない成果を出した。今のところ、心配された点は現れていないといえよう。千葉南部支部〇名は、居住の人がおられなかった結果と思われる。

四 本会への周知・理解

本年度の勧誘の三回目からは、リーフレットの「絆」を他資料と同時に配付、また、「本部会報」（第二一〇七号）も四回目の勧誘時に配布した。

現役時は、とにかく超多忙である。このような中で、会報をお届けしての本会への周知・理解はぐっと前に進む。入会に際しての本当の入門編となろう。

五 現職校長への働き掛け

また、各校種委員とも、現職の都校長会等への働き掛けを行った。勧誘関係のお願いであるが、現職は実に親切であった。共感是我々の心を一つにする。

さて、さらに改善・工夫を要する点について支部長さんファーストで考えてみる。

六 入会申込書の動き方

第一は、入会申込書についてだが、これは支部長さん管理となった。この方が効率よく回収・集約等を可能にし、入会者人数等を早く把握できるということでもある。時短の勧誘が利く。

七 新体制づくりのチャンス

第二は、支部組織についてである。勧誘のための役員によるペア組みや組織部・庶務部、その他の方々によるチームづくり等のどれか、ワン・チーム精神を生かした支部の「新体制づくり」で、新勧誘活動に一九となる。これは、実は、今春は熟し時であってチャンス時なのだ。

入会のお誘い

東京都が六十歳定年退職直後の再任用制度を発足させてから、定年退職後も引き続き、責任ある校園長職に就いておられる校園長先生方が多くおられます。六十五歳までといっても、再任用だけで六十五歳まで勤め上げる方は少ないようですが、永年にわたるご労苦に対し、衷心より敬意を表します。

このような中、最近、本会への入会者の急激な減少が続いております。主な原因は、再任用制度の導入以外に、現職校長会へのこれまでの連携不足・情報不足がありました。そのために、退職後の唯一無二の組織である「東京都退職校長会の存在」そのものを存じ上げない校園長先生方が多くおられました。都においては、地縁・血縁・結縁の薄さということもありましょう。そこで、本会では魅力創りに向け規約改正に着手したのです。一つには、現職校長のうちに

本会の準会員になれて、定年退職後に会員となれるのです。

二つには、入会したい支部は、勤務した学校・園の地域（勤務地）の支部か又は、先生のお住まいになっておられる地域（居住地）のどちらかを選べます。

三つめの着手は、他支部の活動に参加できるという計画です。活動の範囲が広まるとともに、本会のメリットも高まることでもあります。

やはり、人間はいつまでも一人では生きていけない。強がりを書いていても、いつかはどこかで人様のお世話にならないと限らない。人生百年時代を迎えた今、退職後の長い人生を送るには、友が欲しくなり、仲間が欲しくなるものです。語り合う同志とともに親睦や互助の中に身を置き、生涯学習を突き進み、ボランティア活動にもいそしむ、そんな人生の後半を意義あるものに築き上げられたら素晴らしいのではないのでしょうか。

令和元年度

「第二回 外部人材活用連絡会」

Ⅱ 都受託事業「人材バンク」運営特別委員会報告Ⅱ

第二回の「外部人材活用連絡会」は、一月二十二日（水）都教職員研修センターで開催された。

1. 連絡会の趣旨

人材バンク事業は、学校に外部人材を供給し、学校がより教育活動に専念できる環境をつくり教育内容の向上を図ることができたかを検討し、一年間を振り返ることである。

2. アドバイザーの活動の実際

○ 区部アドバイザー平山勇

- ・練馬区の校数小65校、中35校
- ・広報活動（事例・利用方法）
- ・後期新任校長、副校長への広報活動で、人材を探す苦労話などから現状を把握する。

- ・課題 (1) アドバイザーとしての知識を深める必要がある。
- (2) 区の施策には、より関心を持つておくことが大切である。

○ 市部アドバイザー大井芳文



- ・東村山市、国分寺市の様子
- (1) 東村山市（小15校、中8校）
- (2) 国分寺市（小10校、中5校）
- ・具体的な活動内容
- (1) 市教委への訪問（年2回）
- (2) 小・中学校の校長会・副校長会、前期・後期2回説明
- ・成果 人材バンク事業6年の活動は協力的で有難かった。
- ・課題 (1) 勤務した経験がない地区では打ち解けて話せないかった。(2) 本年度事業活用者

は15人で、更に向上に努めた。

3. 地区別協議

地区別協議会は、アドバイザー担当の区部と市部を組み合わせて、5グループの編成とした。

※各グループの司会・記録は、

- 1グループ（城内・第二）伊地敦子・森田洋子、2グループ（城北・第二）河合美津子・田中洋子、3グループ（城南・第三）藤井誠一・守屋龍男、4グループ（城西・第四）湯地和夫・秋本光代、5グループ（城东・第五）高橋利夫・喜多村晃が務めた。

・地区別協議会の実施要領

- ① 協議時間・50分を予定
- ② 協議主題・本年のアドバイザー活動の実際と今後の課題

- ③ 協議の観点・本年を振り返って

- ◇良かった点 ◇今後改善すべき点 ◇その他

- ④ 記録は、当日本部に提出。協議記録の分析・考察

◇良かった点

- (1) 人材バンク事業では西多摩郡松原地区に、初めて外部人材の採用が実現した。有意義なことである。

- (2) 人材バンクの活用校では成果を上げており、有能な人材は有償で継続採用されている。

- (3) 新任の校長、副校長の学校訪問は有益である。この制度の内容を詳しく説明でき、採用までの手順が確認できた。

- ◇今後改善すべき点（都教委へ）(1) 学校は4月始まりでこの時期に外部人材を確保したい。外部人材活用連絡会開催もこの時期に合わせて欲しい。

4. 再出発への願い

教育庁人材バンク事業は令和元年度で終了する。本事業を今日まで進展させてきたアドバイザーの英知と実践力を今後も期待し、新組織への対応と動向を注視したい。

（文責 林 忠義）

各

部

だ

よ

り

総務部庶務担当部の活動 庶務担当部長 鈴木 一徳

本年度、総務部は庶務担当と会計担当で構成されることになった。

庶務担当は、宇津木副会長と七人の理事である。理事のうち三人は新任である。まだ勤務をしている理事もいて、部長、副部長を決めるのが難しかった。部長を総務部未経験の鈴木が務め、経験のある理事二人が副部長を務めることにした。

庶務の仕事は、多岐にわたっている。二人の副部長を生かして、二つの部門を置き、部員も主な役割を分担して、それぞれ所属することにした。

A部門は、総会、評議員会、支部長会、運営委員会等の企画準備を担当する。例えば、支部長会については、一週間ほど前の部会で、支部長宛の封筒を用意し、配付資料や各支部の広報

誌などを入れる。

B部門は、会員の入会、退会、逝去、異動など動静の把握と整理、名簿の作成などを担当する。

現在、本会全体で、改正した会則の実施、会員増強に取り組んでおり、会員数の把握は喫緊の課題である。新入会員の把握と共に校種別の会員の動静と会員数の把握に取り組んだ。現状では、支部と本部で異なるところもあるが、今後、精査して一層の正確さを期していきたい。

昨年、十二月には、本部からの年賀状を、全連退、関ブロ、都教委・地教委関係宛とともに、今春、退職を予定されている各園長・校長二五七名の方にお送りした。受け取られて、一人でも多くの方が入会してくださるよう願っている。

第二回支部長会で、九月末時点での状況を報告したところである。

総務部会計担当部の活動 会計担当部長 小久保正己

本年度の会計部は、総務部の中に位置付けられていて、総務部担当の副会長の下、会計担当部長の他四人の理事で構成されており、男性二人、女性二人である。いずれも他の業務等を抱えており、部長の引き受け手がない。

会計部の業務は、事務局長の適正な予算執行を補助し、会計処理を行い、各支部や会員からの会費納入状況を把握し、財務の見通しを立てフィードバックすることである。このため、月ごとに支出簿を整理し、領収書綴りや通帳と現金を照合している。会費は郵便局の振替受払通知票を月ごとに整理して、支部ごとの納入状況を取り纏めている。地方の会員についてはお一人ずつ会費納入等を確認するとともに、総務担当と連携して連絡窓口を務めている。

会計部の仕事が見えるのは、年四回の支部長会や評議員会等

で受付業務を担当して、交通費等の支払いをしている場面である。このため、担当する理事は細かい金種を用意するため事前に銀行等に足を運ぶ。こうした仕事柄もあり、本部の理事になる時、会計部を希望する人はほとんどいないのが現状である。

小生が本部会計部員になった当時は会員が五千名近くいたから、予算執行で苦労することもなかったが、入会者が少なくなり高齢化が進行し、会員がじわじわと減少し始めたのである。

このたびの抜本的な改革により会員数を盛り返すまで、予算の有効活用を図り、活動を魅力あるものにするため、本部支部の組織を挙げて全力で取り組んでいかなければならない。

会計部として日常業務をしっかりと行い、改革の一翼を担い、本部としての役割を果たしていきたい。そして支部活動にも自ら積極的に参加して、未加入者にも働きかけながら、楽しく意義のある活動を作り上げていきたい。

企画調整部の活動

企画調整部長 高橋 利夫

企画調整部の業務は多岐にわたっている。部としての取り組み、また、他の部と連携して実施していく取り組み、さらに、人材バンク事業におけるの中心のなかわりなどである。

今年度の活動

一、東京都教育委員会との委託

事業を円滑に推進すべく関係組織への連絡・調整を行った。

6/3 第一回外部人材活用連絡会

・人材バンク事業の趣旨説明

・人材バンク運営特別委員会が実施計画を練り、都教育庁人事部と打ち合わせを重ねて実施した。

7/29 第一回登録者対象研修会

・講話「学校教育とボランティア活動」多田丈夫会長「小・中・高校生・特別支援学校生への接し方」については、羽

豆成二先生・岩谷俊行先生、高校及び特別支援学校は多田丈夫会長が行った。講演後は

グループ別研修を行った。

9/28 第二回登録者対象研修会

・講話「学校教育とボランティア活動」(多田丈夫会長)、「学校教育と新しい教育課程」(桐谷澄男先生)を行い、第一回と同様にグループ別演習を行った。

1/22 第二回外部人材活用連絡会

・第一回同様アドバイザー全員参加。本年度の活動を終えるの意見・感想・協議。

二、「五団体との教育懇談会」

・八月三十一日本退職公務員連盟会議室で開催。

・国公立幼稚園・こども園長会、小学校長会、中学校長会、高等学校長会が、それぞれに抱える教育課題を報告、質疑、情報交換を行った。(特別支援学校は欠席)

三、都教育庁幹部との懇談会

・児童、生徒の生活及び学習また教職員にかかわる課題について、担当課長、主任指導主事から丁寧なご説明とご回答をいただいた。

広報部の取り組み

広報部長 角田美枝子

一 魅力ある会報誌を目指して

(一) 今年度の会報誌の特徴

会報は年4回発行しています。昨年度より16ページ立て2回、8ページ立て2回と装いを新たにしている。内容面の一層の充実を心掛けています。

会報誌の内容は、①本部の活動②支部及び会員の声③受章、計報等の常設記事で構成しています。今年度は、東京都退職校長会が多田会長のリーダーシップのもとワンチームとなって会員増強に努めた成果が表れていますので、「新入会員の声」の欄を多くとりました。また、生涯学習部のご尽力により、4年ぶりの支部活動一覧を掲載できました。各支部の活動状況の共有と、未入会の方の参加意欲に繋がることを願いました。

尚、今年度より会報原稿のメール送信をお願いしたところ、

多くの方にご協力いただきお礼申し上げます。

(二) 校正の姿勢

広報部では、皆様からいただいた原稿を部員全員で目を通してから印刷業者に渡します。そして届いた校正刷りと原稿を照合し、誤字・脱字、名前の間違い等に細心の注意を払います。

広辞苑と会員名簿は必要不可欠なツールです。そして、何よりも執筆してくださった方の原稿に込めた想いを大切にしながら、魅力ある会報誌づくりに、緊張感をもって取り組んでいます。

二 ホームページの再開設

退職校長会のホームページを、今年5月を目途にリニューアルいたします。これまで契約していたプロバイダーを変更して予算削減したことに伴い、広報部が内容の検討・原稿依頼等を行い、パソコンに精通したHP担当が、適時適切な更新と情報提供をいたします。再開設された暁には、ぜひご覧ください。

生涯学習部の活動

生涯学習部長 齊藤 徳蔵

本年度も「生き生き人生を目指して」をテーマにして活動しました。主な活動は、①年二回の会員研修会の企画、運営実施②クラブ活動の充実、支援③地域で活躍する会員の情報を集め、会報等への掲載に尽力です。

第一回の会員研修会は五月十三日、定期総会の後に実施しました。講師に会歌作曲者の宮下洋先生をお招きしました。『歌の世界 その喜び』をサブテーマにして、・会歌の作曲の経緯と思ひ・音楽全般についてお話をされました。・先生の素晴らしい歌を交えながら演奏について説明をいただきました。最後にご指導いただきましたが、全員で歌いました。大変楽しく、充実した研修会でした。詳細は会報二〇五号に掲載。

第二回会員研修会は十一月十九日に『絵手紙と写真で心の

表現を！』をサブテーマにして実施しました。「絵手紙づくり」は北多摩北部支部東久留米地区村木通輝先生、「写真」は神奈川支部横山忠太郎先生を講師にお願いしました。

「絵手紙」は、お手本や資料を用意してくださり、細かくご指導していただきました。参加者全員が真剣に取り組みました。「写真」は横山先生が撮られた写真と俳句等を映像で紹介されました。両方とも、素晴らしく、楽しい一時を過ごし、参加者全員満足された様子でした。（会報掲載）

九月、二月にクラブ委員長会を実施しました。充実したクラブ運営をされていますが高齢化等のため部員の減少が多く、共通した悩みです。

生涯学習部で地域の活動をまとめ会報二〇七号に掲載しました。本部・支部間・クラブ活動の交流・会員増強等のために活用いただけると嬉しいです。

「会員相互のつながり」 福利厚生部の活動

福利厚生部長 守屋 龍男

福利厚生部は主に次の4項目の事業に取り組んでいます。

1 会員の親睦と互助に関する こと

新年懇親会（1月29日）、定期総会後の懇親会（昨年5月13日）では120名前後の大勢の皆様方のご参加を頂き、大いに盛り上がりました。旧知の友、先輩、後輩の方々と久しぶりに出会って、胸襟を開き語り合い、歌った楽しい会でありました。

2 会員の慶弔に関する こと

長寿を迎えられた方々に寿詞とささやかなお祝いの品をお渡ししております。

長寿会員の方々の正確な把握は各支部長、庶務担当の皆様のお力なくして出来ません。有り難うございました。厚く御礼を申し上げます。

また、物故者の皆様への香典等については本年度から支部長

会（年4回）でお渡ししております。その間、立て替えられた支部長様にはご迷惑をお掛けしております。心よりお詫びを申し上げます。

なお、平成30年度から慶弔等に関する内規5条、6条（役員・支部長等が死亡した場合一万円をおくる）が削除され、一律、五千円となっています。

3 叙勲に関する こと

春・秋の叙勲および高齢者叙勲の受章者を調査し、会報でお知らせしています。

ただし、高齢者叙勲を受章された方は各支部より報告のあった方のみ会報に記載することになっております。高齢者叙勲を受章された方は必ず当該の支部長へご連絡をお願いします。

4 年金に関する こと

毎年、東京都退職公務員連盟との合同研修会で、社会保険制度（年金・医療・介護等）について学んでいます。有益な情報がありましたら会報などでお知らせします。

新入会員の声

ご挨拶

八王子支部 米山 泰夫

皆様、こんにちは。米山泰夫と申します。

このたび熱心に入会を勧めてくださいる方があり、縁あって皆様のお仲間に加えていただくことになりました。何とぞよろしくお願い申し上げます。

東日本大震災のあった平成23年（2011年）3月に東京都を定年退職し、丸9年が経ちました。同期の中には、すでに鬼籍に入った者もいます。寂しくなりました。新入会員には違いがありませんが、胸を張って新人とはとても申せません。怠惰な性格のため趣味と呼べるようなものもなく、無為に日々を送っております。寄る年波には勝てず、「無病息災」というわけにもゆかず、複数の病院・クリニックに通いながら、かろうじて年齢相応の「健康」を維持しております。

昨年の台風19号は全国各地に大きな被害をもたらしましたが、

我が家も被災し未曾有の体験をいたしました。いまだに仮復旧の状態です。これから本格的な作業が始まります。山林や河川の荒廃がはなはだしく、元の姿を取り戻すのには数年はかかると思われます。

これから自然と関わりながら、おごらず、謙虚な気持ちで生きていこうと思っています。皆様には、今後とも、ご厚誼のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

新しい一歩

大田支部 高橋 茂雄

昨年の三月に、東京都の教員生活が終わりました。私は、定年時に先輩から退職校長会へのお誘いをいただきましたが、再任用校長としての勤務の継続もあり、何より「卒業」から逃げる気持で一杯でした。

教職のスタートは、一年生四十四名の担任でした。ひらがなを正しく書けるように、書き方辞典を慌てて買い求めました。先輩方の背中が大きくて、自分もいつかあのようになれるのかと思いました。

それから何十年、それぞれの職場で出会いと学びがありました。経験させていただいたこと全てが財産になりました。

現在は、区の教育センターで相談員として勤務しております。得られた経験を少しでも還元できよう頑張りたいと思います。

感謝

世田谷支部 阿部 陽一

昭和五十七年、夢が叶い教師となり、今思えばあつという間に時が過ぎました。

昭和の終わり七十年間は品川区で、平成時代の三十年間は世田谷区で過ごしました。

そこで、多くの人に支えられ、教職生活三十七年間で勤め上げることができました。

この間に出会った生徒、仲間、先輩、保護者、地域の方々…、そして、家族に感謝しています。

昨年の三月に定年退職を迎え、四月から、私立高校の校長として新たなスタートを切りました。今までの経験、そして、多くのひととの出会いが財産となり、学校経営にあたっています。

また、現在は、大人になった

教え子たちとの語らいの一時も、楽しい生活のひとつになっています。

ご縁をつないで

武蔵野・三鷹支部 邑上 裕子

新入会員の声を書いてほしいと頼まれ戸惑っております。私は退職七年目。新人とは程遠い年齢です。この度、先輩のお声掛けで入会する運びとなりました。ご縁ができました。

先日、教員時代に勤務していた小学校の閉校式に参列いたしました。四月より小中一貫校として新たに出発すること。そのための閉じる会です。地域や同窓会は、母校が無くなる淋しさを隠せない様子でしたが、多くの方が「今までの伝統を引き継いで、新しい学校に生かしてほしい」と願われていました。私は閉校式のお陰で旧同僚や卒業生・保護者に会うことができました。教育に携わる者として、ご縁をつないでいく大切さを感じたところです。本会ともつながり、お世話になります。



地方会員の声

地方に住んでの思い

群馬県安中市 西村 佐一

退職とほぼ同時に群馬に転居して十六年、うち十二年の首都圏での第二の職も辞し、名実共に地方人となって四年が経つ。これまで、地方に住んでいるという意識はあまり持たなかったが、過日、二十数年前の某新聞の記事を見る必要があった。市立図書館、県立図書館にレファレンスした。しかし、縮刷版もマイクロフィルムもなく、やむなく、国会図書館に出かけ用を足したが、地方と中央の違いを改めて感じたことであった。「郷に入っては郷に従え」というが、生活の仕方も人との関わりも読む本も以前と異なり、徐々に地方の人になりつつあることを、気楽さと寂しさの入り交じった思いで過ごしている。何はともあれ、都退職校長会のますますの発展を祈りたい。

ホームページの更新・公開について

広報部 HP 担当 福島良樹

東京都退職校長会のホームページ運用規定の前文にホームページの開設と公開に関する必要事項が定められ、会員への適切な情報提供と円滑で公正・公平な運用を図ると記されている。また、規定の第一条（公開の目的）には「情報化の推進に資するとともに、本会の目的を達成するため、その活動を広く公開し、会員の理解と協力を得るものとする」とある。担当としては、この目的を達成させるべく、適時性をもってホームページの更新に鋭意努力をして参りたいと考えている。

現在、更新作業中ですが5月を目途に新しく公開されるホームページの構成（内容）は

- ①ホーム（会長年頭の挨拶・事業計画・予算編成並びに会報誌発行の基本原則等）
 - ②本会の概要（東京都退職校長会綱領・本部役員・沿革・大会や教育フォーラム等の報告・会歌と会章）
 - ③本会の活動（現在未更新の状態）
 - ④クラブ活動（絵画クラブ（水墨みすみ会）・写真クラブ・囲碁クラブ・ソフトテニス・園芸クラブ・釣りクラブ・メダカ会（短歌クラブ）等の会員数と活動の紹介）
 - ⑤会報誌（第189号から第208号までPDFで掲載）
 - ⑥本部ニュース（総務部関係・企画調整部関係・広報部関係・福利厚生部関係・生涯学習部関係・業務推進本部関係等）
- となっている。

今後、退職校長会の会歌や活動の様子が分かる音楽や動画を公開するなど、タイムリーな情報の提供をして、会員の期待に応えたいと考えている。どうか多くの方の閲覧をいただければ幸いである。

尚、先に本部より通知された＜新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴う業務の自粛について＞はすでにHPのトップページに掲載してあるのでご参照願いたい。



(公社)東京都
教職員互助会

三楽病院

SINCE 1933

どなたでも
ご利用
いただけます

診療科目

消化器内科	循環器内科	糖尿病・代謝内科
呼吸器内科	小児科	精神(神経)科
消化器外科	脳神経外科	整形外科
皮膚科	泌尿器科	産婦人科
眼科	耳鼻咽喉科	

人間ドック

受付時間	月	火	水	木	金	土・日・4
午前	全科					
午後	全科	外科 消化器外科	外科 消化器外科	全科	小児科・外科 消化器外科	—

午前 8:30～11:00 午後 13:00～15:00
夜間(金曜) 16:30～18:30
休診日 日曜、祝日、第1・3・5土曜、年末年始

電話予約センター **03-5282-1489**

予約がなくても受診いただけます ※精神(神経)科の初診を除く

人間ドック予約直通 **03-5282-8331**

ISO27001 認証取得病院

千代田区神田駿河台2-5 TEL (03) 3292-3981 (代表)

「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩2分

三楽病院

支部だより

会則についての臨時総会

杉並支部長 井口 茂

1 東京都退職校長会は会員数の減少を検討、会則改正に取り組み、令和元年五月十三日の総会で会則改正案を提案。

第五条 現職の園長・校長を準会員とすることができ。定年退職後に正会員となる。

第六条 会員は東京都退職校長会に加入し、居住地域又は勤務した地域のいずれかの支部に所属する。会員は所属する支部の活動、並びに他支部の活動にも参加することができる。
↓承認を得た。

2 これを受けて杉並支部は支部の会則改正に取組む。臨時総会開催を会報で知らせ、令和元年十一月十九日（火）開催した。提案「本支部の会員は東京都退職校長会の会員で、杉並区内に居住する者を以て組織する」を改正し「杉並区内に居住する者、もしくは杉並区・他地区で校長として勤務した者とする」とし、杉並支部も東京都退職校長会の人材確保の方策を踏まえ会則改正が必要と考えます。皆

さんのご意見をいただければ幸いです。と提案。以下、意見です。

①退職校長会の規約改正を支部の校長会に説明することが大切ではないか。

②他区で校長をした者にとって今回の改正で地元の会員になれるのは有難く賛成です。

③門戸を広げるのは良いことで賛成です。

採決 賛成多数で承認されました。

3 新年会での会員の感想

会則改正で晴れて杉並支部に入会できました。多田会長さんにお礼を申し上げます。

4 今後

会の充実・教育支援等の検討。



来賓を迎えての新年会

活力ある会員

練馬支部長 齋藤 諭

練馬支部は二十三区支部での最多会員を抱える支部である。

百二十名近くの会員を十一の地区に分け三十名の理事さんに会員との密接な接触をお願いしている。

支部活動の特徴をいくつか述べて見よう。

①講演会：支部活動を支える理事会は年間六回予定されている。会員の中には優れた技能、知識、体験を有する会員が多く一般会員もその人柄から多くを学ぶ事を望んでいる。そこで年六回の

理事会の前部三十～四十分を頂いてその会員を講師にお願いして研究成果や研究過程を語って頂いている。刀剣研究家、戦時体験記、古文書研究、栄養学、針・灸治療、東京都退職校長会シンボルマーク作製秘話等その範囲は広範に互り極めて好評である。

②活発なクラブ：現在活動しているのは次に紹介する三つのクラブと研修会であり会員の大多数がいずれかのクラブで成果を挙げている。

★歩こうクラブ：歩こうクラブの歴史は古く次回の実施で記念の百回を迎える。このクラブの規模は大きく会員・準会員・会友と幅広い範囲の人が参加し見聞を広めている。

★囲碁クラブ：囲碁クラブは都退職校長会の囲碁クラブで先頭に立っていた立谷先生を師に多くの会員が腕を磨いている。

★写真クラブ：会員十一名年六回のクラブとしての撮影会を実施し、その成果は大作五十五点、課題作三十三点、大々的に写真展にまとめて発表している。その他、年二回区民センター展示場を利用し成果を提供している。

★事業部研修会：年一回ではあるが事業部が計画する研修会で練馬への理解を深める。

会報と会合を生かした活動

千葉北部支部長 永嶋 達夫

千葉北部支部は平成十四年に千葉支部が四分割となり成立したもので、地域は柏、我孫子、流山を主に野田、鎌ヶ谷、白井、印西の各市に印旛郡、これに隣接の茨城県の方にもお声をかけて、現在53名、分割時のほぼ半数となっています。

活動としては、年四回の役員会、六月の総会・懇談会、それに日帰り研修として年一回の近隣の地域探訪、最近ではつくばの宇宙センター、古利根散策、松戸の戸定亭（水戸藩主の別邸）、昨秋は野田キッコーマン

創業者の旧邸宅見学など印象に残るひと時でした。また、俳句の会は年一回少人数ながら他支部の方の参加も得て時には吟行も加えて、主な作品は会報に掲載。

このほか年二回発行の会報の「ひと言」欄は、一五〇字から大半は三〇〇字、五〇〇字を越

える方もあってそれぞれの生き方、考え、趣味、奉仕、余暇の過ごし方など、さまざまな個人情報提供は相互理解を深め、生きる力ともなり心強い限りです。

さらに、数年前よりの「ふれあい昼食会」は年一回ですが直接に顔を合わせて、仕事ではなく自由な懇談交流の意義ある機会となってきました。

これら会報の誌上を通じての交流、そして無理のない範囲での会合を柱として、支部としての求心力を高めてまいりたく努めておるところです。

退職校長会という組織としては、現役時代の経験を生かしての活動の重要さは申すまでもなく、退職したという観点に立てば本会綱領第二項の親睦と互助が基本となるものと考えられます。そういう共通の思いをもつて気持ちのつながりを一層深めていければと思っている次第です。

短歌

応募コーナー①

人生へのおもひ

教え子の古希の祝いに「つくし会」

幼き頃の顔を覗かせ

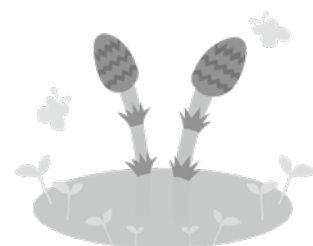
吾が人生 昭和・平成と走り抜く

師友の恩恵 ありてこそ今

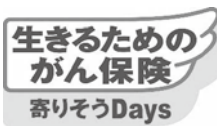
土筆^{つくし}んぼ 蓬摘みにし江戸川堤

草餅に残る母の温もり

千葉南部支部 大久保 明夫



お気軽に、いつでもご連絡ください



〈お気軽に下記代理店へお問い合わせください〉

〈取扱代理店〉

三井住友トラスト・ライフパートナーズ株式会社
東京都千代田区神田錦町3-11-1

0120-357-212

〈引受保険会社〉

アフラック 東京第一法人営業部
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
TEL 03-3344-1446

<同好の仲間と楽しく過ごしませんか>

◆ ◆ ◆ クラブ紹介 ◆ ◆ ◆

= 入会を歓迎します ご希望の方は委員長までご連絡ください =

囲碁クラブ

- 委員長 佐々木和廣（電話：090-1999-9047）
- 会場 ナーベル（お茶の水）
- 大会 年2回（6月、11月）
- 錬成会 毎月第1月曜日（休日のときは次週）
ナーベルお茶の水にて
- 会費 年間1,000円、参加費500円

写真クラブ（T・K・C）

- 委員長 甲野 恵美（電話：03-3268-7476）
- 撮影会 年8回（バス1泊撮影会1回を含む）
- 写真展 年2回（なかのZEROで開催）
- 研究会 年1回講師による講評・自評会等
作品研究・撮影技術研究
- 懇親会 写真展のオープニング・パーティー
- 会費 年3,000円
写真展出品料1回2,000円



園芸クラブ

- 委員長 天野 正忠（電話：03-3752-3810）
- 会場 新宿区立環境学習情報センター
（エコギャラリー新宿2階）他、見学地
- 活動 春と秋の年間2回の作品交換会
園芸に関する施設の見学会
栽培に関する懇親会や栽培実習の会
- 会合 年間5回
- 会費 年1,000円



釣りクラブ（千代田会釣り部）

- 委員長 町田 静隆（電話：090-2915-8954）
- 釣り場 金沢八景、江ノ島、下田、浦安
- 釣り物 シロギス・アジ・イサキ・ワラサ・
イナダ・タチウオ・イシモチ等
- 会合 年7回の釣り例会
- 特別会 年2回の一泊釣り会
- 釣り大会 年1回のアジ釣り大会
（表彰あり）
- 懇親会 研究・懇談会（2月）、
新入会員歓迎釣り会
（8月 ニジマス）
- 会報 年5回発行
- 会費 年2,500円



絵画クラブ（水墨みすみ会）

- 委員長 東條 康永
（電話：048-873-5727）
- 会場 南大塚地域創造館
- 会合 月1回（8月は休み、春と秋に
都内公園等でスケッチ会を実施）
- 学習内容 水墨画・基本技法の学習
- 方法 課題を設けて、作品に取り組む
- 作品展 毎年開催（新宿エコギャラリー）
- 講師 なし（会員相互の連携による）
- 会費 年8,000円
通信費 年2,000円
（通信会員）



メダカ会（短歌クラブ）

- 委員長 岩井 昭
（電話：0422-32-2426）
- 会場 都退職校長会事務局
（地下鉄千代田線湯島駅下車
徒歩5分、乞うご来場）
- 会合 毎月第2金曜日（PM1:30）
（8月を除く）
- 方法 短歌二首を互評
（始めはなくてもよい）
- 講師 現在 依頼中
- 会費 月1,000円（必要に応じ）

ソフトテニスクラブ

- 委員長 石原容子（電話：03-3788-3264）
- 会場 杉並区営松ノ木テニス①②コート
①JR高円寺駅南口を出て右へ10m、
永福町行きバスに乗車
②井ノ頭線永福町駅北口を出て井ノ頭通り
を渡り左へ10m、高円寺駅行バスに乗車
①、②共に、途中の都立和田堀公園下車、
北へ徒歩3分
- 練習日 月数回、練習可（2か月前に通知）
- 練習 毎回ゲームを中心に行う
- 会費 3,000円（年間）
- メンバー募集中です。



高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。（敬称略）

（令和2年3月11日現在）（12名）

瑞宝双光章

小泉 宣夫（世田谷）	秋田 仁（世田谷）	小林 由衛（世田谷）
榎本 徹（世田谷）	井上 英夫（板 橋）	竹田 英生（日 南）
田野倉訓郎（西多摩）	吉澤 利夫（西多摩）	石川 秀治（神奈川県）
稲葉 勝造（神奈川県）	宮川 惟男（神奈川県）	肥後 昌治（埼玉県）

湯島の動静

2月

5 東京都教育庁懇談会（10時）・正副会長会

6 東京都公立小学校長会研究発表会（於中央区立久松小学校）に出席

10 生涯学習部会

12 企画調整部会

17 2/17、3/9 コロナウイルス対応のため事務所での諸会議自粛

18 会計部会

26 広報部会・会報208号入稿

3月

4 広報部会・会報208号初校

9 生涯学習部会

10 正副会長会

11 企画調整部会・広報部会（二校）

17 会計部会

18 広報部会（三校）

24 臨時正副会長会

31 総務部会

4月

3 生涯学習部会

13 福利厚生部会

東京都退職校長会会員の皆様へ

昭和51年4月に東京都退職校長会の会員の皆様の福利厚生の一環として団体契約を頂戴しております。会員ご本人様はもとより、ご家族、ご親戚の方々もご利用いただけます。

事前相談

どんなに些細と思われることでも
お気軽に

ご葬儀

寝台自動車、火葬場
式場、供花・枕花の
お手配

ご法事、 葬儀後の お手続き

家族葬から音楽葬など、あらゆるご葬儀を承っております。
年中無休・24時間体制、どのようなことでもご相談ください。

フリーダイヤル ☎0120-849544 をご利用ください。



経済産業省認可（第）第3056号

株式会社 東京都民互助会

東京都民互助会

検索

<http://www.tomin-gojo.co.jp>

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 TEL.03-3396-7231 FAX.03-3395-8874

28 総務部会
22 企画調整部会
20 評議員会・支部長会（中止）
15 監査会・会計部会
14 総務部会



(令和2年3月11日現在)

物故者

謹んでご逝去を悼み
ご冥福をお祈り申し上げます



氏名	年月日	支部名	職種	年齢	名簿頁
有谷 時春	平30.12.2	世田谷	小	90	15
吉澤 雅之	令元6.2	西多摩	中	93	76
塩練 一男	令元7.30	狛江	小	89	71
篠塚 正明	令元10.27	大田	小	69	11
皆川 節	令元11.11	大田	小	86	13
菱山 一正	令元12.1	八王子	高	94	45
松島 朝興	令元12.9	武蔵野三鷹	小	100	58
馬場 信房	令元12.10	練馬	高	89	33
山本 勝敏	令元12.10	練馬	中	93	32
喜多村匡男	令元12.21	杉並	小	89	20
中島 忠雄	令元12.23	八王子	小	89	43
松岡 忠信	令元12.25	府中	小	90	68
内藤 十一	令元12.31	府中	中	87	67
原川 薫光	令2.1.3	目黒	小	87	9
樋 詰男	令2.1.10	練馬	小	87	31
小澤 貞男	令2.1.24	西多摩	小	85	81
小野崎 通	令2.1.24	北多摩西	小	90	74
今関 武	令2.1.17	世田谷	小	93	15
秦 吉平	令2.1.28	練馬	中	85	33
矢野 桂治	令2.2.5	世田谷	中	88	14
伊地 由憲	令2.2.6	北多摩北	中	82	58
井出 虎雄	令2.2.8	板橋	中	89	27
松本 辰雄	令2.2.15	北多摩北	中	89	60
中山 順子	令2.2.22	墨田	小	88	5
駒井昭次朗	令2.2.23	北多摩中	中	92	65
竹永 秀雄	令2.3.5	西多摩	中	94	76

応募コーナー②

短歌

空缶に一杯集めし毛虫をば

「宅急便です」と校長室まで届く

だいじそに両の手合わせ女兒の寄る

手の掌開けば桜花びらとびだす

吹きたまる桜花すくいより高く

男児競いて宙に投げ合う

中野支部 田中弘志

作品募集—広報部宛—

短歌・俳句・川柳（ひとり二〜三首）・コント（百字程度）等を葉書でお寄せください。（難読漢字は要ルビ）

「書画・写真・挿し絵」等の作品も募集いたします。作品の写真またはデータをお送りください。原則、返却しません。掲載は割付状況により異なります。

編集後記

お届けいたします会報208号は新型コロナウイルス感染者拡大の不安の中で編集されました。巻頭言ははじめ定期総会延期の通知、流行拡大に関わっての緊急連絡等会長の悲痛なメッセージが掲載されております。

中国の武漢で感染が広がった新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染者も中国に留まらず欧米諸国や我が国でも多発しています。その予防対策として、小・中・高・特別支援学校の休校措置も実施されました。早い収束が待たれるところです。

2020東京五輪の開催も秒読みとなりましたが開催が危ぶまれる状況となっていました。ところが、本号の最終校正の時期と重なるこの3月24日、「一年間程の延期決定」というニュースが入って来てしまいました。残念です。

しかし本号には会員増強プロジェクトチームや支部だより、クラブ紹介、新会員や地方会員の声など、会員諸氏からの力強い発言もたくさん盛り込まれております。会員減少にまいりながらもそれに歯止めを掛け新入会員の増加を目指した様々な工夫が提言されております。これらを参考にさせていただき会員相互の親睦を深め、会の充実を図りましょう。

（大瀧吉夫）